

「豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成」を目指して -後期学校評価アンケート結果より-

高岡市立古府小学校

本校の学校教育目標 豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成

【校訓】 正しくあれ やさしくあれ 強くあれ
 (目指す子供像) (考える子) (やさしい子) (きたえる子)

今年度は重点目標として「心身共に健康で、学びを深める児童の育成」を掲げ、重点目標の具現化に向けて以下3点の達成目標の実現を目指し取り組んでいます。

＜達成目標＞

知	目当てをもって、進んで学ぶ子	85%
徳	友達や自分のよさを見付け、温かい言葉遣いや行動をする子	85%
体	生活リズムを整え、進んで運動に取り組み、元気な体をつくろうとしている子	85%

○児童アンケート



(質問項目 No. ③、⑥、⑧)は今年度の達成目標項目

No	アンケート内容	R7 後期 達成度	R7 前期 達成度
①	学校は楽しいです。	94%	95%
②	授業(学習)で「分かった」「できた」と感じます。	92%	94%
③	「目当てをもって、進んで学ぶ子」 目当てをもって、進んで学習に取り組んでいます。	88% ○	88% ○
④	自主学習ノートを工夫するなどして、高学年60分以上、中学年40分以上、低学年20分以上家庭学習に取り組んでいます。	70%	72%
⑤	先生や友達、地域の人に自分からあいさつしています。	87%	86%
⑥	「友達のよさを見付け、温かい言葉遣いや行動をする子」 友達のよさを見付け、温かい言葉遣いや行動をしています。	94% ○	90% ○
⑦	時間や学校のきまりなど、古府小スタンダードを守って活動しています。	92%	89%
⑧	「生活リズムを整え、進んで運動に取り組み、元気な体をつくろうとしている子」 生活リズムを整え、元気な体をつくろうとしています。	92% ○	88% ○
⑨	体育の授業や朝5運動に積極的に取り組み、体力を付けようと努力しています。	96%	93%
⑩	生活のきまりや交通ルールを守り、安全に気を付けて過ごしています。	93%	96%



5年 稲刈り



持久走記録会



3年校外学習(消防署見学)

○保護者アンケート

No	アンケート内容	R7 後期 達成度	R7 前期 達成度
①	お子さんは、楽しく学校へ通っている。	94%	95%
②	お子さんは、学習が「分かる」「できる」と言っている。	78%	79%
③	お子さんは、目当てをもって進んで学習に取り組んでいる。	▲66%	▲59%
④	お子さんは、自主学習ノートを活用するなどして、家庭学習に取り組んでいる。(高学年 60 分、中学年 40 分、低学年 20 分以上が目安)	58%	52%
⑤	お子さんは、家庭や地域で進んで挨拶をしている。	82%	83%
⑥	お子さんは、友達や自分のよさを見付け、温かい言葉遣いや行動をしている。	○90%	○89%
⑦	お子さんは、古府小スタンダード等、学校の約束やきまりを守って行動している。	92%	92%
⑧	お子さんは、生活リズムを整え、進んで運動に取り組み、元気な体をつくろうとしている。	▲82%	○88%
⑨	お子さんは、積極的に体を動かし、体力の向上に努めている。	86%	88%
⑩	お子さんは、けがや事故のないよう、安全に気を付けて過ごしている。	95%	93%
⑪	学校は、各たよりやHP等により、教育目標や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	97%	98%
⑫	学校は、子供たちのために学力を高めようと努めている。	94%	91%
⑬	学校は、子供たちや保護者の話をよく聞き、相談にのっている。	94%	89%
⑭	学校は、子供たちに生命や人権を尊重する意識や態度を育てようと努めている。	96%	92%
⑮	学校は、子供たちが安全に過ごせるよう学校や社会のきまりについて指導したり、環境を整えたりしている。	98%	96%

令和7年度後期評価の結果について特徴的な項目を挙げると、以下の結果となりました。

- ・「①学校は楽しい」「⑩安心・安全」の項目においては、前期同様、児童・保護者双方から高い評価が寄せられており、本校の学校生活が楽しさと安心感をもって受け止められていることが確認できる。
- ・達成目標知の「③課題意識」と「④家庭学習」の項目では、児童評価に大きな変化はないが、保護者評価は前期と比べて6～7ポイント上昇した。学校や家庭での学習に対する児童の取組が改善されてきていると感じる保護者が増えていることが伺える。特に、課題に向き合う姿勢や家庭学習の習慣付けについて、学校と家庭が連携して取り組んできた成果が少しずつ表れていると考えられる。
- ・達成目標徳の「⑥友達のよさを見付ける」については、児童・保護者共に評価が達成目標である85%を上回り、前期より数ポイント上昇した。この結果から、児童が友達のよさに気付き、それを認め合う姿勢が着実に育まれていることが感じられる。
- ・達成目標体の「⑧生活習慣」については、児童評価が前期より4ポイント上昇した一方で、保護者評価は6ポイント下降した。また、学年が上がるにつれて保護者評価が低くなる傾向も見られる。この結果から、児童は生活習慣の意識や実践が少しずつ向上しているものの、保護者の視点では課題が残っていると感じられることが伺われる。

この結果を受け、改善を図るため、3学期には以下の内容について取り組んでまいります。

知【目当てをもって、進んで学ぶ】

① 「主体的に学ぶ」学習の推進

- 学習課題の明示
 - ・各授業の導入で課題を明確に示し、児童が目的意識をもって学習に取り組む姿勢の育成。
 - ICTの効果的な活用
 - ・授業のねらいや児童に付けていた力に合った学習専用端末の活用の仕方の工夫。
 - 振り返り活動の充実
 - ・授業の終末に行なう、自分の学びを振り返る「できた、分かった」の実感を伴う振り返り活動の充実。
- #### ② 基礎・基本の定着
- 「きらりタイム」の充実
 - ・漢字・計算練習を徹底することによる、基礎・基本の確実な定着と学習習慣の強化。
- #### ③ 家庭学習の充実
- 「自主学習ノート」の具体的な課題例の提示と「今日の目当て」の記入
 - ・「家庭学習の手引き」に沿って、学年に応じた課題例を提示し、取り組みやすさと継続性の向上を図る工夫。
 - 達成感を高める評価の工夫
 - ・児童が成長を実感できるよう、教師によるスタンプやシール等を活用した温かいフィードバックの実施。
 - よい取組の紹介による学習意欲の向上
 - ・自主学習に意欲的に取り組む児童のノートや、家庭での支援の様子を紹介し、学びの広がりを促進。

徳【友達のよさを見付け、行動する】

① 挨拶の充実

- 運営委員会による挨拶啓発活動の継続
 - ・定期的な挨拶運動「ハッピーあいさつ週間」の実施
 - 相手に気持ちが伝わる挨拶の推進
 - ・「ありがとう」「ごめんなさい」を含む基本的な挨拶の定着。
 - ・「元気に」「自分から」「名前付きの」挨拶をすることへの重点的な声かけと励まし。
- #### ② 互いのよさを見付ける言動の推進
- 「あったか言葉」の積極的な活用
 - ・学級での「あったか言葉」の出し合いと掲示による日常的な意識付け。
 - 「かがやきレター」の活性化
 - ・すべての児童が書き、書いてもらえる喜びを味わえるようにする時間の確保と工夫。
 - 異学年交流の場の設定
 - ・縦割り清掃班によるゲームや遊び等の交流活動の実施。

体【体力向上に取り組み、規則正しい生活習慣を身に付ける】

① 規則正しい生活習慣の定着

- 生活リズムチェックカードの活用による生活習慣の見直し
 - ・各学級での振り返りを通して、自分の生活を見つめ直し、目標を決め、実践する機会の継続。
- ホームページや校内掲示による取組の発信
 - ・児童の頑張りや変化の様子を可視化し、家庭と連携した生活習慣の定着。

② 運動習慣の定着と質の向上

- 「朝5運動」の継続による体力向上と運動習慣の形成
 - ・短時間集中型の運動による、毎日の生活リズムづくりと体力の向上。
- 自ら目当てをもって運動を楽しむ工夫
 - ・体育科の授業でのねらいの明示と目当ての設定。
 - ・児童が考えた運動メニューの導入による、主体性の育成と運動への関心の向上。

保護者の皆様からは、学校運営や学校生活、学校行事等の改善につながる貴重な意見をいただきました。

これからも、児童が安心してのびのびと学校生活を送れるよう、丁寧な支援ときめ細かな指導を心がけてまいります。保護者の皆様方のご理解・ご協力を今後ともよろしくお願ひいたします。